

インフルエンザA型(H1N1)

<第13報>

2009年6月22日 午後3時現在

1. 厚生労働省が運用指針を改定

新型インフルエンザA型(H1N1)の感染拡大が国内外で続く中、厚生労働省は6月19日、対策を見直す運用指針の改定版を発表した。厚労省ホームページに掲載された『医療の確保、検疫、学校・保育施設等の臨時休業の要請等に関する運用指針(改定版)』によると、厚労省は今回の改定で、これまで感染の発生や拡大を防ぐための封じ込め対策等に注力してきたのを改め、秋冬には大規模な感染が発生する可能性が高いとの前提に立ち、重症患者への対応等に重点を移した。改定内容の要旨は以下の通り。

基本的な考え方

- 感染拡大防止措置には限界がある。
- 秋冬には大規模な感染の可能性があるため、可能な限り感染の増加を抑制する。
- 重症患者への対応を優先し、そのための医療体制を整備する。
- 「感染拡大防止地域(感染者数が限定的)」と「重症化防止重点地域(患者が急速に増加)」というように、地域の感染状況に分けた対応を止め、地域の感染状況に応じて対応する。

患者・濃厚接触者への対応

- 患者の指定医療機関等への入院は義務付けず、基礎疾患等がなく、感染拡大の恐れがない場合は原則として自宅療養とする。
- 基礎疾患がある場合は抗インフルエンザ薬を早期から投与し、必要に応じて入院治療を行う。
- 家庭や学校、職場等で患者と接した「濃厚接触者」に対しては予防投与や健康観察はせず、外出自粛などの協力要請に留める。

医療体制

- 感染者の対応については、指定の発熱外来での受診を基本とし、感染者の多い「重症化防止地域」に限って発熱患者と一般の患者を分けることのできる一部の一般医療機関での受診を許可してきたのを改め、原則として全ての一般医療機関における診察を可能とした。但し、発熱患者とその他の患者の待合区域を分けるなど、院内感染対策の徹底が原則とされる。
- 重症患者の入院については、感染症指定医療機関以外においても受け入れる。

学校・保育施設等

- 特に大きな変更はなく、学校・保育施設内で患者が発生した場合は、感染拡大を防止するため、都道府県が設置者に対し、臨時休業を要請する。

サーベイランス等

- 放置すれば大規模な流行が発生する可能性のある集団における患者発生を可能な限り早期に探知する。
- 感染疑い例全員の遺伝子検査（PCR 検査）を止め、集団発生の可能性が高い場合に疑い患者の一部から検体を採取し、検査を実施する。
- ウイルスの病原性（毒性）や薬剤耐性など、ウイルスの性質の変化に対する監視を実施する。

検 疫

- 事前通報があった場合は引き続き機内検疫を実施するが、それ以外は基本的に入国者全員への注意喚起等に力点を置くなど、検疫体制を緩和する。
- 感染が確認された場合にとられてきた隔離措置は廃止し、発症していても PCR 検査は実施せず、症状に応じてマスク着用や公共交通機関の利用を控えるなどを要請、自宅療養させる。
- 但し、同一の旅程の集団から複数の発症者が認められた場合は PCR 検査を実施し、医療機関での受診を勧める。

今回の運用指針の改定に関する詳細は厚生労働省の下記ホームページをご覧ください。

1. 『医療の確保、検疫、学校、保育施設等の臨時休業の要請等に関する運用指針（改定版）』
<http://www-bm.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/2009/06/0619-01.html>
2. 新旧対照表
<http://www-bm.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/2009/06/dl/0619-01a.pdf>
3. 概要
<http://www-bm.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/2009/06/dl/0619-01b.pdf>

今回の運用指針の改定は、秋以降に予想される新型インフルエンザ A 型（H1N1）の流行の「第 2 波」に向けて、さらに対応を柔軟化させたものといえる。その背景には、5 月に神戸市などで感染者が多数発生した際、発熱相談センターや、発熱外来に指定された医療機関が対応しきれない状況に陥ったことなどが挙げられる。その一方で、地方自治体からは、全医療機関で発熱患者を受け入れると急にいわれても対応できないなど、戸惑う声が上がっている。しかし、これまでの対策では大規模感染に対応しきれないことが明らかになった今、秋にも起こりうる大規模感染に備え、各自治体や医療機関では早急に準備することが求められる。

国内における感染状況

国内の感染が続いている。厚生労働省の6月19日現在の発表によると、兵庫と大阪の2府県では感染の拡大が収まりつつあるが、下記の表にある通り、福岡、千葉、東京、神奈川、愛知などの大都市では引き続き感染が拡大している。

日本の感染都道府県(厚生労働省 6月19日 発表)

日 時	6月19日	第12報時点6月12日
感染確定都道府県数	32 都道府県	22 都道府県
都道府県名	感染症例(死亡症例)	感染症例(死亡症例)
兵庫	208 (0)	205 (0)
大阪	169 (0)	161 (0)
福岡	77 (0)	50 (0)
千葉	75 (0)	43 (0)
東京	48 (0)	28 (0)
神奈川	37 (0)	16 (0)
愛知	24 (0)	4 (0)
このほか		
埼玉、 <u>栃木</u> 、京都、静岡、 <u>長野</u> 、 <u>岐阜</u> 、滋賀、広島、山口、北海道、岩手、 <u>茨城</u> 、山梨、新潟、 <u>三重</u> 、 <u>愛媛</u> 、 <u>鳥取</u> 、 <u>宮崎</u> 、 <u>鹿児島</u> 、秋田、奈良、和歌山、徳島、 <u>長崎</u> 、 <u>大分</u> 、成田空港(検疫)、 <u>関西空港(検疫)</u>		
合計	745 (0)	548 (0)

都道府県名に下線があるのは前報以降、新たに感染が確認された地域

2. 世界における感染状況

世界でも感染の拡大が止まらない。6月19日付の世界保健機関（WHO）発表では累計の感染者数が4万4,000人超となっているが、22日付の各社報道によると、感染者数はすでに5万人を超えた。19日には感染拡大が続く南半球のオーストラリアでも死者が発生している。

世界の感染確定症例・死亡症例数(WHO 6月19日 発表)

日 時	6月19日	第12報時点6月11日
感染確定国・地域数 ¹	94 国・地域	74 国・地域
国 名	感染症例(死亡症例)	感染症例(死亡症例)
米 国	17,855 (44)	13,217 (27)
メキシコ	7,624 (113)	6,241 (108)
カナダ	4,905 (12)	2,446 (4)
チリ	3,125 (2)	1,694 (2)
オーストラリア	2,199 (0)	1,307 (0)
英 国	1,752 (1)	822 (0)
アルゼンチン	918 (4)	256 (0)
日 本	690 (0)	518 (0)
中 国	519 (0)	174 (0)
タイ	518 (0)	8 (0)
スペイン	512 (0)	357 (0)
フィリピン	311 (0)	77 (0)
パナマ	272 (0)	221 (0)
ドイツ	238 (0)	95 (0)
イスラエル	219 (0)	68 (0)
ニュージーランド	216 (0)	23 (0)
エルサルバドル	160 (0)	69 (0)
グアテマラ	153 (1)	60 (0)
コスタリカ	149 (1)	104 (1)
ニカラグア	144 (0)	45 (0)
ペルー	141 (0)	64 (0)
フランス	131 (0)	73 (0)
ホンジュラス	108 (0)	89 (0)
ブラジル	96 (0)	40 (0)
ドミニカ共和国	93 (1)	91 (1)
イタリア	88 (0)	54 (0)
オランダ	87 (0)	30 (0)
エクアドル	86 (0)	67 (0)
韓 国	84 (0)	53 (0)
シンガポール	77 (0)	18 (0)
コロンビア	60 (1)	35 (1)
ベネズエラ	60 (0)	13 (0)
スウェーデン	43 (0)	19 (0)

国名	感染症例(死亡症例)	感染症例(死亡症例)
ウルグアイ	36 (0)	24 0
ギリシャ	31 (0)	7 (0)
インド	30 (0)	9 (0)
エジプト	29 (0)	10 (0)
パラグアイ	27 (0)	25 (0)
スイス	27 (0)	20 (0)
ベトナム	27 (0)	16 (0)
マレーシア	23 (0)	5 (0)
デンマーク	22 (0)	10 (0)
サウジアラビア	22 (0)	1 (0)
トルコ	20 (0)	10 (0)
ベルギー	19 (0)	14 (0)
クウェート	18 (0)	18 (0)
ルーマニア	18 (0)	11 (0)
トリニダード・トバゴ	18 (0)	2 (0)
ノルウェー	17 (0)	13 (0)
アイルランド	16 (0)	12 (0)
キューバ	15 (0)	5 (0)
ジャマイカ	14 (0)	10 (0)
フィンランド	13 (0)	4 (0)
バーレーン	12 (0)	1 (0)
レバノン	12 (0)	8 (0)
ボリビア	11 (0)	5 (0)
スリナム	11 (0)	-
オーストリア	8 (0)	7 (0)
モロッコ	8 (0)	-
ハンガリー	7 (0)	4 (0)
ポーランド	7 (0)	7 (0)
チェコ	5 (0)	4 (0)
エストニア	5 (0)	4 (0)
ポルトガル	5 (0)	2 (0)
パレスチナ自治区(ガザ・西岸)	5 (0)	-
バルバドス	4 (0)	3 (0)
英領領ケイマン諸島	4 (0)	2 (0)
アイスランド	4 (0)	3 (0)
イエメン	4 (0)	-
オランダ領アンティル	4 (0)	-
オマーン	3 (0)	-
カタール	3 (0)	-
ロシア	3 (0)	3 (0)

国名	感染症例(死亡症例)	感染症例(死亡症例)
スロバキア	3 (0)	3 (0)
バハマ	2 (0)	1 (0)
ブルガリア	2 (0)	2 (0)
ヨルダン	2 (0)	-
ルクセンブルク	2 (0)	1 (0)
アラブ首長国連邦	2 (0)	1 (0)
英領バミューダ諸島	1 (0)	-
英領バージン諸島	1 (0)	-
キプロス	1 (0)	1 (0)
ドミニカ	1 (0)	1 (0)
仏領ポリネシア	1 (0)	-
仏領マルティニーク	1 (0)	-
ラオス	1 (0)	-
パプアニューギニア	1 (0)	-
サモア	1 (0)	-
南アフリカ	1 (0)	-
スリランカ	1 (0)	-
ウクライナ	1 (0)	1 (0)
英国王直轄属領 マン島	1 (0)	-
英国王直轄属領 ジャージー	1 (0)	-
合計	44,287 (180)	28,774 (144)

新たに感染が確認された国・地域

感染症例数が増加した国・地域

上記合計には、台北で確認された感染症例数 60 人と死亡症例数 0 人が含まれます。

1 感染確定国・地域数は SJRM にて集計しております。